

平成19年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	岡山県地域のジーンズアパレル業界人材育成再チャレンジ教育プログラムの実践		
法人名	学校法人 第一平田学園		
学校名	中国デザイン専門学校		
代表者	理事長 平田 眞一	担当者 連絡先	戸田 陽子 TEL 086-225-0791

1. 事業の概要

本事業は、デニム・ジーンズ業界で必要とされている「デニムの素材・素材企画～企画・設計～生産・加工～流通～販売」の各工程における知識・技術を網羅的に学ぶための講座を実施し、業界への再チャレンジに必要な知識・技術を身につけさせ再就職を支援することを目的とした。

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

本校が計画当初に目指したデニム・ジーンズ業界への若者の再就職支援という観点からは、残念ながら当初の目的を達成することは出来なかった。

しかしながら、今回開発した教材やサンプル集は、日本を代表する繊維メーカー、ジーンズメーカー等の方々から高い評価を得ており、現在働いている社員の再教育で利用したいとの声もあがっている。今後は、社員教育を通してデニム・ジーンズ業界の人材定着率向上にも役立てて頂きたい。

②事業により得られた成果

前項でも言及したように、残念ながら若者の再就職支援という目的を達成するには至らなかった。

しかし、今回開発した教材やサンプル集は、業界メディアや地方の情報誌、業界紙などでも取り上げられ、教育という観点から業界発展や業界の人材育成体制の整備に一石を投じたことと認識している。開発教材等は業界からの引き合いもあり再就職の支援は難しかったが業界発展や人材定着という観点からは、効果的な教材として活用されると認識している。

③今後の活用

今回開発した教材等は、次年度以降当校のデニムジーンズ科の授業において活用をしていく。

また、現在のデニムジーンズ業界は、体系的に教育内容が整理・整備されておらず、その観点からも意味のあるプロジェクトであったために教材の業界からの引き合いは大変強い。したがって、この業界で働く者に知識や技術の向上という面でのバイブル的活用も望みたい。

④次年度以降における課題・展開

本プロジェクトで整えた教育内容は、教育プログラムとして一定の完成に至っていると考える。教材の内容的な意味での改善点は今後の運用の中から見つけ出しさらなる教育強化を図ることとしたい。

また、今回のプロジェクトで最大のネックとなったのは、地域的制約や時間的制約であり、そのために対象者の募集が困難であったと考える。これを改善するためにはe-learningのような時間的・空間的制約をとわない教育方法に置き換えて運用していく工夫が必要であると考える。

3. 事業の実施に関する項目

①教材編集

■教材編集

本プロジェクトでは、平成18年度文部科学省事業で開発した「素材・素材企画～企画・設計～生産・加工～流通～販売」の知識・技術を網羅的に学ぶ教材を基に、再就職に必要な業界ビジネス情報を付加することにした。また、用語集や日本のジーンズの歴史ジッパーなどの昨年度掲載しなかった内容も付加することにした。具体的な内容は以下の通り。

■デニム・ジーンズ教本 ～歴史・素材・加工・ビジネス

世界や日本におけるデニムの歴史を発端に、デニム製造プロセスやデニムの加工を知識ベースで理解することを目的とする。また、その支援ツールとして用語集を巻末に掲載した。

■ジーンズパターン・使用・縫製テキスト

特殊ミン・裁断・縫製工程・特殊な縫製工程・仕様・付属・仕上げ・仕様書、各部位の名称、伸縮率、サイズについてなどのデニム素材を使用したジーンズ製作に必要な技術を学ぶことを目的とした。

■デニム素材テキスタイル集

具体的なデニムの素材をサンプルとして集約し、生地の違いや加工の違いを目で見て、手で触って理解することを目的とする。本年度特別な調査は実施していない。

②実証講座

■第1回デニム素材と染色

講師:株式会社カイハラ 代表取締役会長 貝原 良治 様

日時:平成20年1月11日(金)11:00～12:30

場所:中国デザイン専門学校

対象者:デニムジーンズ科3年6名、2年12名、1年9名、社会人コース1名計28名

内容:本年度編集したデニムジーンズ教本の中から第1章「ジーンズの歴史」および第2章『デニムが出来るまで』およびデニム素材テキスタイル集を活用し、デニム素材や染色を学ぶ。

■第2回デニムビジネスの現状

講師:株式会社ビッグジョン 商品部副部長 吉村 恒夫 様

日時:平成20年1月15日(火)14:00～15:30

場所:中国デザイン専門学校

対象者:デニムジーンズ科3年6名、2年12名、1年9名、社会人コース1名計28名

内容:本年度編集したデニムジーンズ教本の中から第4章「デザイナー型ジーンズアパレル起業への道」をもとに、企画を立ち上げるところから、市場調査、サンプル作成、本生産、消費者へ商品が届くまでの、物作りのサイクルなどの戦略的な考えの組み立て方を学ぶ。

③事業の特色

本事業の企画意図には以下のような背景がある。

○デニムジーンズ業の製造現場において就業者の高齢化が進んでおり、生産性の低下などが懸念されている。

○繊維産業を担う意欲を持った若手の人材が確保できず、不足している。

○繊維産業は「紡績」「製織」「染色」「縫製」などの分業体制が進んでおり、繊維製品の企画から製品化、販売まで一貫して対応できる人材が少ない。

○企業内で若手の人材を育成する時間的余裕、資金的余裕がない企業が多く、人づくりが後回しとなっている。

○高齢技術者から若手技術者への技術の継承が図られておらず、優れた繊維ものづくり技術が失われるおそれがある。

本校は、上記のような背景を教育という立場から支援をすることになっている。

今後も、これらの諸問題を解決していくことにより地域の産業の発展また岡山県の産業の活性化に支援をしていく。